

賞を受賞している。

同社は、呉服やアパレル、小売りを中心としたパッケージ開発製造企業として、1923年に創業。今年で101年目を迎える。BtoCからBtoBに事業を展開し、14年に当代代表取締役の佐野博政氏が緩衝材設計事業を開始した。

主な取引先は産業機器メーカーだが、震災やコロナ禍を経て、現在では段ボール製防災グッズの開発に力を入れている。自治体向けに自社サイトでの販売を行っており、今後はトライ&エラーの精神でいろいろなことに挑戦していきたいという。

## 段ボールに十αの提案を

### 空間パッケージデザインを追求

梅花堂紙業

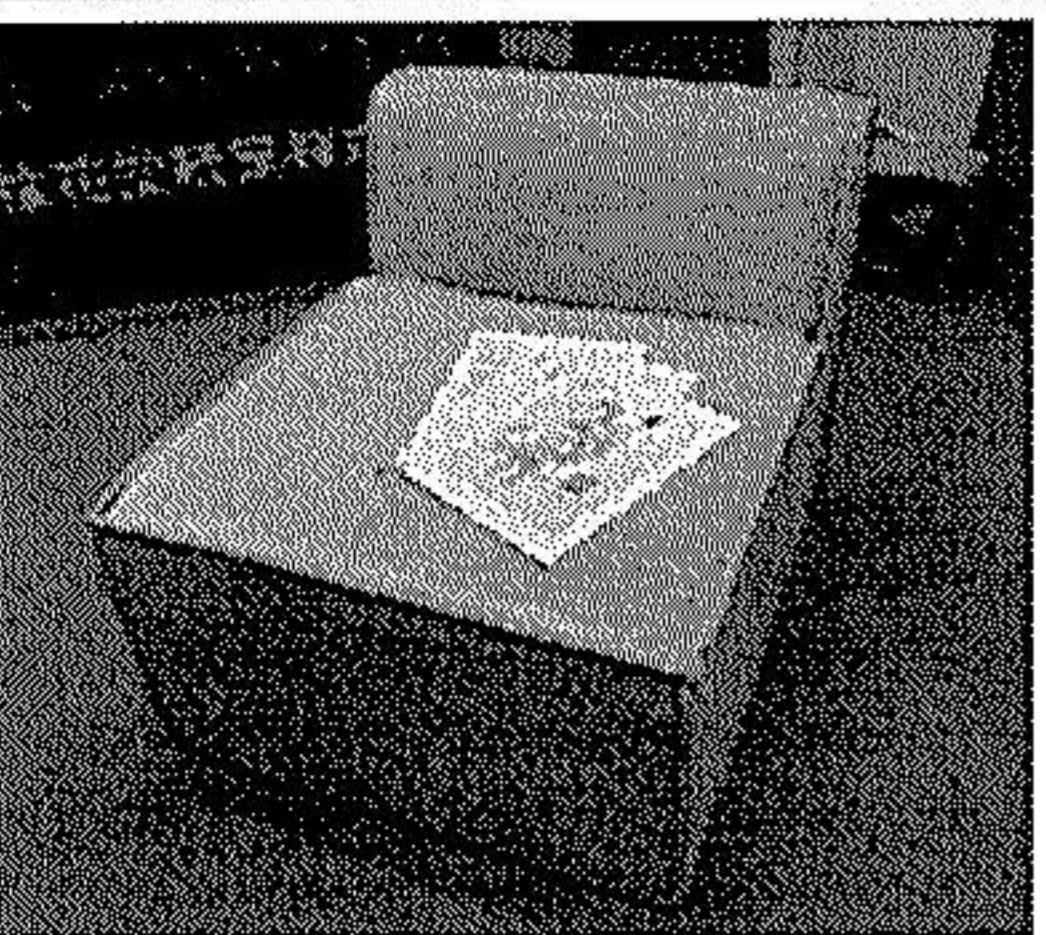
梱包材・緩衝材メーカーの梅花堂紙業（名古屋市中区、☎052・915・0130）

は、段ボールに付加価値を持たせた製品提案を行っている。最高級品質の国産ウレタンを使用したモジュール式1人掛けソファ「Swayley（スウェイレイ）ソファ」のフレームから、段ボールベツドや簡易トイレなどの防災グッズを展開。自由な発想で「包む」技術を応用し、製品とパッケージの間の空間

をデザインしていく。

ソファフレームには、再利用可能でサステナブルなバージンパルプ100%紙を使った強化段ボールを使用している。輸送用段ボールを加工し、優れた堅固さと軽量化を両立。底付き感がない座り心地の良さを実現した。

段ボールフレームは、従来の木材フレームに劣らない強度を保ちながら、軽量で女性や子どもでも簡単に持ち運べるという。ウレ



タンの高品質であるほど重量が増すというデメリットを改善し、掃除や模様替えの手間だけでなく、製造運搬時の負担も軽減する。

段ボールフレームを採用した「Swayley（スウェイレイ）ソファ」

Swayleyソファは、ウ